

広がる川内原発3号機増設疑惑

川内原発敷地内では、いま何が起こっているのか？

川内原発の敷地内においては、一昨年から大規模な工事が行われており、県内の反原発運動を進める市民団体などでは、この間、工事の目的などについて明らかにするよう県と九電への申し入れを行ってきました。これに対し県・九電双方とも、「特重施設建設のための資材置き場の建設工事」であり問題がないと説明しています。しかし、九電のこれまでの隠蔽体質を考えると俄かに信じることはできません。遡ること7年ほど前、伊藤前知事は、川内原発3号機の増設を一旦は許可しましたが、3.11福島原発事故を目の当たりにし、3号機建設を凍結しました。そして、その担保となるのが『県が管理する保安林の伐採禁止』と『海岸側の公有水面の埋め立て禁止』の2点です。

しかしいま、川内原発の敷地内で行なわれている大規模な工事によって、『保安林』が伐採され、その場所に大型トラックが離合できる道幅の道路が作られ大量の土砂が運搬されています。さらに、コンクリートで固められた側溝や大規模な盛り土、巨大な沈砂池も作られています。

こうした状況の中、「ストップ川内原発！3.11鹿児島実行委員会」では、今回の工事の真の目的と3号機増設の関係を明らかにしようと、情報公開条例に基づいて関連する書類等の公開を県に求めました。そして、その中で確認できたのは、『現在工事が進められている沈砂池や盛り土の工事は、3号機増設予定の図面に示されている位置とほぼ一致している』という事実です。このようなことから、「現在の大規模工事は3号機増設の下準備ではないか？」との疑惑が広がっています。私たちは、この事実を広く県民に知らせ、川内原発の廃炉に向けた県民運動を改めて構築するために、新たな署名運動をスタートします。

みなさん、次の時代を担う子どもや孫たちに、安全で豊かな鹿児島をバトンタッチしていくけるよう、共に力を合わせましょう！



新たに作られた盛り土（2018年11月）

とめよう原発！かごしまの会ニュース Vol.3

2019年1月号



あけましておめでとうございます



とめよう原発！かごしまの会 8・26臨時総会報告

—政治団体を解散し市民団体として活動することを決めました—

政治団体「とめよう原発！かごしまの会」は、2年前の県知事選挙の活動母体として、また政治資金の受け皿として、平良行雄を代表にして発足しました。しかし、公示直前に脱原発を匂わしていた三反園知事候補と原発政策をめぐる協定を結んだ上で平良行雄は立候補を取りやめました。

ところが、当選した三反園知事は、政策協定と会の要請をほとんど無視してきており、この政治団体が三反園知事の公約や政策協定の履行の請求、次期知事選への対応など、平良代表を中心に活動をしてきたところです。三反園知事の変容によって、県は川内原発の再稼動を実質容認しているばかりか、保安林を解除して3号機立地予定地とほぼ同等の工事が進んでいるという事態が起きており、「とめよう原発！かごしまの会」の役割はますます重要になってきています。

3月に総会を開催いたしましたが、ここになって平良代表が県議会議員選挙に出馬することになったため、代表を退任しなければならない状況を迎え、臨時総会で市民団体に衣替えをして会の趣旨を継続していくことを確認しました。

<確認事項>

- その1：政治団体は解消し、任意（市民）団体とします。
- その2：役員体制は、共同代表制を取ることとします。

<新役員体制>

- *共同代表：野崎 隆道、山崎 秀文、木下 香里 <敬称略>
- *副 代表：野呂 正和、向原 祥隆、平良 行雄
- *事務局長：井上 勇治
- *事務局（会計）：白澤 葉月
- *幹 事：赤星秀一、有馬裕子、梅北優香、木下大然、小柴健介、城眞理、杉原洋、榆田幸男、福田良典、松崎真琴、盛園尚利 （以上、19名）



共同代表新任あいさつ



野崎 隆道

「とめよう原発！かごしまの会」共同代表に選ばれました、野崎隆道です。この会は、前回の鹿児島県知事選挙で前代表の平良行雄さんを知事候補として戦うために作られた政治団体でした。その後、三反園現知事と政策協定を結び、平良行雄さんは知事選挙への立候補を取りやめ三反園氏の応援に回りました。ところが、三反園知事は知事に就任するや平良代表との「協定や約束は記憶がない。」などと口走り面会もできないし、反原発団体の方々との直接の協議にも応じようとしません。そこで、前代表の平良行雄さんが県議会議員に立候補し議会で直接対峙する決意をしました。それに伴い、政治団体をいったん解散し、3名の共同代表を中心任意団体として、次期知事選に向けた取り組みを進めることになりました。その共同代表の一人として、現在進んでいる川内原発3号機立地予定地の工事の問題など中心に反原発の幅広い県民の運動を皆さんと一緒に作り上げていく決意です。今後とも、広く皆さんのご意見を伺いながら共に進んでいきましょう。



木下 香里

私はこの度「とめよう原発！かごしまの会」の共同代表を務めさせていたくことになりました。私は昨年の6月まで屋久島において、原発を含む核施設の反対、憲法9条を守る運動などをしてきました。その一つを紹介します。1999年初め、使用済み核燃料の中間貯蔵施設を種子島・馬毛島に誘致する話が持ち上がり、住民生活、自然環境、地元産業等あらゆる面で屋久島・種子島が大きく悪影響を受けることが危惧されることから、「子供たちの未来にそのような危険なものを残してはならない」という思いが募り、有志が呼びかけて住民たちから反対署名を集めました。そして旧屋久町、西之表市、中種子町、旧上屋久町において熊毛地域に一切の核関連施設を造らせない条例を制定させることができました。同時に熊毛地域への中間貯蔵施設立地反対の陳情書を反対署名と共に鹿児島県知事・県議会に提出し、2000年9月議会で採択されました。更にこの問題は十島村にも及んだことから同議会にも働きかけ、十島村でも同様の条例が制定されました。

屋久島は電力に関しては殆どが水力発電ですが、川内原発で事故が起きれば屋久島にも悪影響が及びます。3.11以降、島民の間でも原発は危険だという意識が高まっています。

私は鹿児島に移住して更に原発の反対運動に関わらせていただくことになり、これまで以上に多くの情報を得ることができました。三反園県政に代わっても川内原発は稼働を続け、更に3号機増設も一段と現実味を増してきている状況をより多くの人たちに理解していただき、川内原発を廃炉にするまで皆様と共に力を尽くしていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。



山崎 秀文

これまで多くの皆さんと一緒に、反原発の運動に関わってきました。今、三反園知事は、私たちの会との政策合意を反故にし、話し合いさえ拒否しています。

川内原発では、三号機建設の事前工事では、と思われる工事が進められ、不安が広がっています。

これから多くの皆さんと、とめよう原発・原発のない鹿児島の運動に頑張りますので、よろしくお願ひします。

前代表退任あいさつ



前代表 平良行雄

皆様方におかれましては、お変わりなくご活躍のことと思います。さて、わたくし平良行雄は、4月に行われる県議会議員選挙に立候補することを決意し、その準備を行なっています。

振り返れば、先の県知事選挙では、「原発のない安全で豊かな鹿児島」を実現するために『とめよう原発！かごしまの会』からの立候補を決意しました。しかし、「現職知事の4選阻止」と「原発の即時停止・廃炉」を実現するために、告示直前に新人の三反園候補と「政策合意」を結び、立候補を見送りました。これによって、「脱原発」に期待を寄せた多くの県民が三反園氏を当選に導きました。しかし、県知事となった三反園氏は、選挙を支えた多くの県民との大切な公約である「政策合意」を反故にし、県民の期待を裏切る態度をとり続けています。私は、三反園知事を誕生させた当事者の一人として、このような三反園知事の態度を許すことはできません。したがって、多くの皆様のお力添えをいただき、県議会議員として議会へ送っていただき、議会の中で直接、三反園知事に「政策合意」を守るよう迫っていく決意です。

このような事情から、これまで担わせていただいた『とめよう原発！かごしまの会』の代表を退任させていただくこととし、8月の総会にてあらたな体制が確認されました。

会員の皆様方におかれましては、次の時代を担う子どもや孫たちに、安全で豊かな鹿児島をバトンタッチして行けるよう、今後とも、会の活動を支えていただけますよう心よりお願い申し上げまして、代表退任のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願いします！



活動資金のご寄付のお願い

「とめよう原発！かごしまの会」は皆様のご寄付により活動を行っています。今後とも暖かいご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

ご寄付はコチラへ
ゆうちょ銀行 振替口座 名義 とめよう原発！かごしまの会（トメヨウケンパツカゴシマノカイ）
記号番号 01710-4-167610
ゆうちょ口座間送金 記号 01710 番号 167610
他銀行からの振込 ゆうちょ銀行 一七九店 当座 0167610